

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（令和元年度）

			機関番号	4 2 6 7 6
所属研究機関名称		大妻女子大学短期大学部		
研究 代表者	部局	英文科		
	職	教授		
	氏名	大平 栄子		

1．研究種目名

挑戦的研究（萌芽）

2．課題番号

18K18486

3．研究課題名

英語テキストから見直す近代日本仏教像

4．補助事業期間

平成30年度～令和2年度

5．研究実績の概要

これまでの近代日本仏教研究において、仏教の近代化のための仏教改革運動が活発化した明治期から大正、昭和にかけて、日本人、特に仏教関係者による膨大な英文著作活動が見られたが、この刊行の意義がまったく問われることがなく、それを資料として用いた研究も皆無であった。以上の問題意識に立ち、本研究は前年度に続き、明治維新から戦前までの期間に刊行された仏教者による英語のテキストを網羅的に収集し、その全体像を明らかにした。時代背景を視野に収めつつその分析を進めることによって、英語テキスト大量刊行の歴史的な意義を解明した。

また、タイのタマサート大学等において現地調査を行うことによって、日本と同じ仏教文化圏に属する東南アジアの国々においても、欧米に対する独自の情報発信の試みが見られたかどうかを検討した。

今年度は特に小泉八雲の仏教への民俗学的視点と哲学的視点が接合された膨大な著作を分析することによって、従来の近代仏教研究において見過ごされてきた統合的視点が八雲に見られたことを明らかにすることができた。

6．キーワード

日本英語文学 近代仏教像

7．現在までの進捗状況

区分	(1) 当初の計画以上に進展している。
理由	今年度の研究計画に基づき国内外での現地調査、資料調査を行うことができた。この調査の成果を分析し、国際学会などで研究発表、および学会誌に投稿することができ、内外の研究者との意見交換もでき、新たな視点と課題を発見することもできた。これにより最終年度における研究の深化が期待できる状態にある。

1 版

8．今後の研究の推進方策

今年度の研究成果を既存の近代仏教研究とすり合わせることによって、近代仏教に切り込む独自の視点を確立し、通説的な近代仏教像の書き換えを目指す。近代においては日本だけでなく、インドを始めとするアジアの諸地域でも仏教者による英語テキストが出版されている。それらを歴史的なコンテキストの中で比較考察することによって、英語テキストという視点からアジアの近代の共通性と多様性に光をあてるとともに、アジア仏教への日本仏教の位置付けを試みる。

9．次年度使用が生じた理由と使用計画

3月に調査のため海外出張を予定していたが、コロナ感染症予防のため出張ができなかったために次年度使用額が生じた。次年度後期において使用予定である。

10．研究発表（令和元年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 2件／うち国際共著 1件／うちオープンアクセス 3件）

1．著者名 Eiko Ohira	4．巻 18
2．論文標題 “ Lafcadio Hearn’s Essays on Japanese Buddhism and Buddhist Popular Culture in Comparison with Okakura Tenshin’s The White Fox, a Dramatization of a Folktale in the Context of Higher Buddhism ”	5．発行年 2020年
3．雑誌名 Hawaii International Conference on Arts and Humanities Proceedings 18	6．最初と最後の頁 30-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1．著者名 大平栄子	4．巻 24集
2．論文標題 日本近代仏教批判への対抗言説 岡倉天心のThe White Fox」	5．発行年 2020年
3．雑誌名 都留文科大学文学研究紀要	6．最初と最後の頁 111 - 134
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤弘夫	4. 巻 単行本
2. 論文標題 現人神の誕生ー近代天皇の宗教的権威	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 私の天皇論	6. 最初と最後の頁 269-292
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Hiroo	4. 巻 74
2. 論文標題 死者たちの語らい (チェコ語)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Novy Orient	6. 最初と最後の頁 32-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤弘夫	4. 巻 51
2. 論文標題 「陸奥国骨寺村絵図」のコスモロジー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本思想史研究	6. 最初と最後の頁 3-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計7件 (うち招待講演 5件 / うち国際学会 5件)

1. 発表者名 大平栄子
2. 発表標題 " Lafcadio Hearn ' s Essays on Japanese Buddhism and Buddhist Popular Culture in Comparison with Okakura Tenshin ' s The White Fox, a Dramatization of a Folktale in the Context of Higher Buddhism "
3. 学会等名 Hawaii International Conference on Arts and Humanities (国際学会)
4. 発表年 2020年

1 版

1. 発表者名 大平栄子
2. 発表標題 「賤民の娘と堕ちた修行僧の物語 Rabindranath Ragore 's Chandalika」
3. 学会等名 西日本宗教学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sato Hiroo
2. 発表標題 The Watchful Gaze of the Dead
3. 学会等名 Hasekura League Symposium (ボローニャ大学) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤弘夫
2. 発表標題 彼岸への階梯ー「陸奥国骨寺村絵図」のコスモロジー
3. 学会等名 中世文学会2109年度秋季大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SATO Hiroo
2. 発表標題 The Watchful Gaze of the Deadー Catastrophe and Salvation in Japan
3. 学会等名 Eight Years On: Scholars ' Efforts to Reclaim Culture since the Great East Japan Earthquake (Oriental Institute of the Czech Academy of Sciences) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤弘夫
2. 発表標題 現人神の誕生
3. 学会等名 国際シンポジウム：天皇制と日本(北京日本学研究中心)（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sato Hiroo
2. 発表標題 The Chatting Dead: The Changing Concept of the World After Death in Japan
3. 学会等名 The 2nd Indonesia- Japan Scientific Forum International Symposium on Japanese Studies（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 佐藤弘夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 306
3. 書名 アマテラスの変貌（法蔵館文庫）	

1 1. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

1 2. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4. 備考

-